



大和路・明日香ウォーキング



2012年6月24日(日)



約60種8000株の花咲くアジサイの名所「矢田寺」と

今年も
飛鳥スイーツ
もご用意!

大和路・明日香 ウォーキング!!

古代ロマン語る万葉の里へ

6月 23-24日 土・日 出発

旅行代金 (おひとり) **5,980円**

コース番号 89170-714
名谷(7:30発)・三宮(8:10発)
西宮北口(8:50発)

コース番号 89171-714
三木緑が丘(7:00発)
西神中央(7:30発)・明石(8:00発)

コース番号 89172-714
姫路(7:00発)・加古川(7:40発)

各地 = 矢田寺 = 明日香村 (さわやかウォーク!) = 橿原神社(参拜) = 各地 (19:00~20:30予定)

石舞台古墳 約60種8000株のアジサイ見物

明日香満喫ポイント

- ① 富本銭せんべい
- ② チョコレートのボン菓子
- ③ 明日香村の果実と野菜のジェラート
- ④ 古代米黒穀団子
- ⑤ あずかるびーのコンフィチュール
- ⑥ あずかるびーのブッセ

ウォーク中のチェックポイントでは6つのスイーツをご用意! ※すべて旅行代金に含まれます ※内容は一部変更となる場合があります

「飛鳥スイーツ&グルメフェスティバル」開催 ●ウォーク中には日本の棚田百選「稲淵の棚田」も ●石舞台古墳の入場付き ※「日本の棚田百選」認定委員会認定 ●織寺や高松塚壁画窟など明日香の歴史あふれる施設も割引価格で入場 ●お昼は昼食弁当付き ●100円分の金券付き



← 高松塚古墳・壁画館 Takamatsuzuka Tumulus Takamatsuzuka Mural Museum 700m トンネル 다카마쓰즈카고분・벽화관

国营飛鳥歴史公園館 Asuka Historical National Government Park Hall 50m 국영 아스카 역사공원관



矢田寺のしおり

矢田山金剛山寺（通称矢田寺）は、いかるがの里に連なる矢田丘陵の中心にあり日本最古といわれる延命地藏菩薩を安置しています。今から約千三百年前、大海人皇子（おおあまのみこ）後の天武天皇が戦勝祈願のため矢田山に登られ、即位後の白鳳四年、智通僧上に勅せられ七堂伽藍四十八ヶ坊を造営、十面観世音菩薩と吉祥天女を安置されたのが当山の開基であります。

また「矢田寺」という名で親しまれているのは、この地が万葉の昔より矢田の里と呼ばれていたため、奈良朝の文書に既に「矢田寺」という名称が使われている。

その後、平安の初め弘仁年間に満米上人、小野篁（おののたかむら）公により地藏菩薩が安置されて以来、地藏信仰の中心として栄えてきた。中世末期には松永久秀の兵火に罹って堂塔が退転したが、その後の復興により七間四面県下屈指の大建築の本堂を始め諸堂が整い、矢田地蔵縁起その他多数の文化財を今に伝えています。

裏山（地藏山）には、四国八十八ヶ所の霊場を安置しており石仏めぐりの散策を兼ねて参拝の人が絶えません。

塔頭寺院には、念佛院、大門坊、北僧坊、南僧坊の四ヶ院坊があつて、修養道場として宿坊の設備も完備しており、特に春秋の彼岸法要には各宗旨を超えた「大和の納骨所」として大変にぎわっております。



矢田山





矢田寺





香芝SA



香芝SA



高松塚古墳



亀石



ササユリ



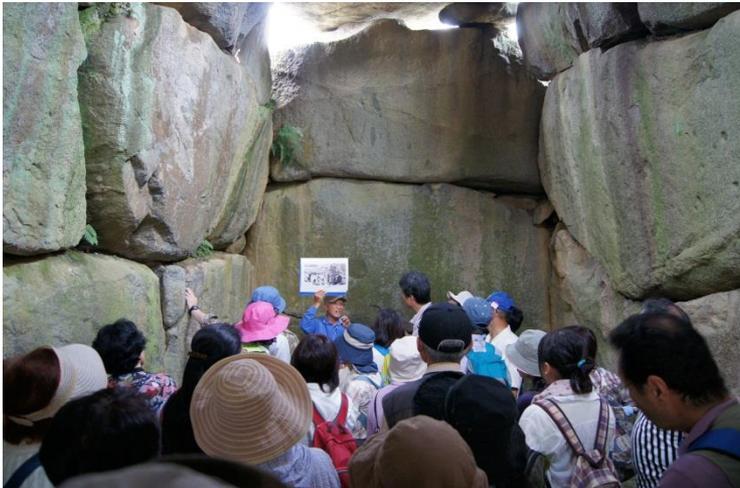
石舞台古墳の解説

この石舞台古墳は、横穴式石室を持つ方形墳で、築造は7世紀の初め頃と推定されます。既に古墳上部の封土は失われ巨大な天井石が露出した姿になっています。被葬者は不明ですが、6世紀後半にこの地で政権を握っていた蘇我馬子の墓ではないかといわれています。

昭和8年と10年に本格的な発掘調査が行なわれ、その結果、玄室の長さ7.8m、幅約3.4m、高さ4.8mで大小30数個の花崗岩が使用されており天井に使われている石の重さは、北側が約64t、南側が約77t、総重量は約2,300tという大規模な古墳であることが判明しました。

石舞台の名の由来

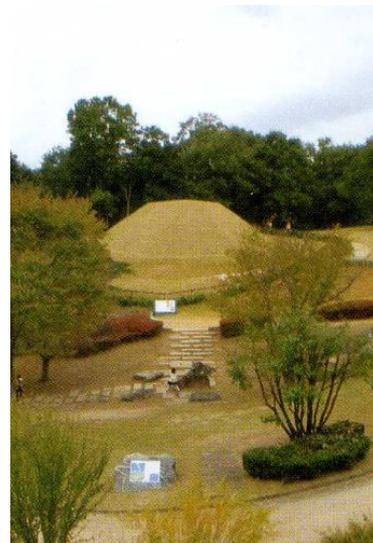
『石舞台』の名の由来については、一般には石の形状からとされていますが、昔狐が女性に化けて石の上で舞を見せた話や、この地にやって来た旅芸人が舞台がなかったので仕方なくこの大石を舞台に演じたという話もあります。もちろん今は石の上に登ることは禁止されています。お弁当などの飲食もご遠慮願います。





北壁 玄武

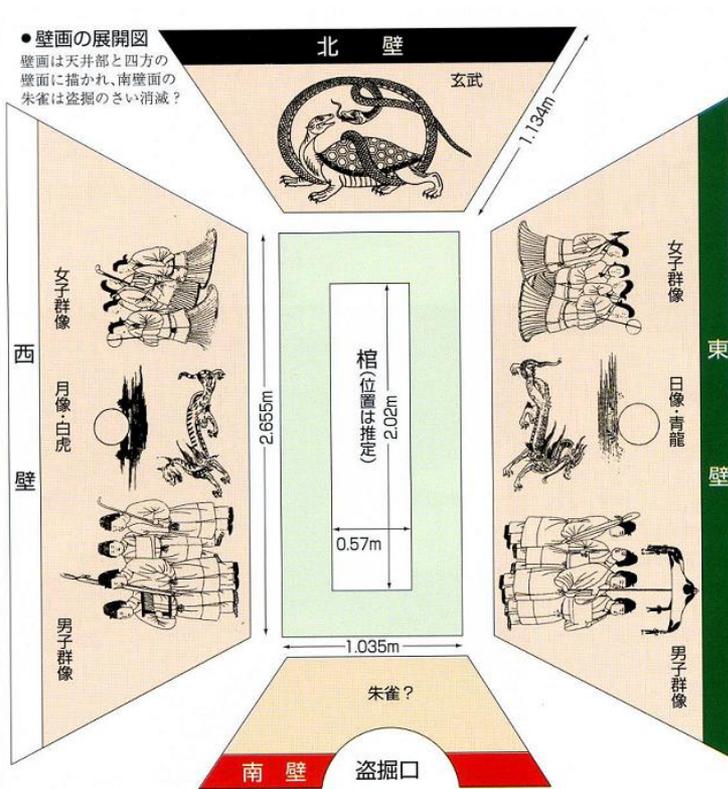
高松塚古墳壁画は昭和47年3月、橿原考古学研究所の調査により発見されました。その後壁画は国宝に指定され、保存上いっさい公開されませんので、古墳の隣接地に壁画館を建設し、石槨内部の模型と壁画の忠実な模写・模造を展示することになったものです。古代史解明の貴重な文化財として海外からも広く注目を浴びている壁画を、あらゆる角度から鮮かに再現した技術力の結晶をごゆっくりご鑑賞ください。なお、現在高松塚古墳壁画は、仮設修理施設に移動して修理しています。この壁画館は高松塚古墳保存の記念郵便切手の寄附金によりできあがりしました。



高松塚古墳



女子群像



東壁 女子群像





最近珍しい・・・カタツムリ
20年振り・・・？



高松塚古墳



今回の梅雨どきウオーキング
ツアー、天気が心配されたけ
ど、運よく好天気とはいえない
けれど雨にも合わず、暑くもな
く・・・矢田寺のいっぱいの美し
いアジアイ、高松塚古墳、石舞
台、大和路散策、最後の檀原
神社参拝、密なメニューに感謝！！健康・体力維持にも良
かった。次の機会も是非・・・



天武・持統天皇陵
Mausoleum of Emperor Tenmu and Empress Jito

壬申の乱（672年）に勝利し、律令制の基礎を築いた天武天皇と、その皇后で次に即位し、天皇としてはじめて火葬された、持統天皇が合葬されている御陵（楯隈大内陵）である。墳丘は現在東西約5.8m、南北約4.5m、高さ約9mの円墳状をなしている。鎌倉時代（1235年）に盗掘され、その際の記録である『向不疑及山陰記』に墳丘・前室・墓室内の様子の記事がある。墳丘は八角形で五段築成、周囲に石段をめぐらすという。切石積の石室は2室からなり、天武天皇の矢筈棺と持統天皇の金銅製骨蔵器が納められている。

After his victory in the Jinken War (672), Emperor Tenmu laid the foundation for the Rikuryō legal system. His wife Empress Jito succeeded him in the throne. He was the first emperor to be cremated, and his remains were buried together with his wife in this tumulus, known as Hinokuma-ouchi-no-misagi. The mound is at present circular in shape, about 5.8m from east to west, 4.5m from north to south, and 9m in height. It was looted into and robbed in 1235, and a document of the time titled Aiki no nezumi describes the burial mound, outer chamber, and the interior of the burial chamber. The mound at the time was described as eight-sided and built in five layers, with stone steps around the structure. The two stone chambers are constructed with dressed stones, and contain the remains of Emperor Tenmu in a dry 30cm x 20cm x 10cm of Limestone stone in the...



鬼の雪隠 Onino Sechin Stone

鬼の雪隠は墳丘土を失った経采墓古墳（7世紀後半・飛鳥時代）の石室の一部である。本来は花崗岩の巨石を精巧に加工した底石・蓋石・扉石の3個の石を組み合わせたもので、鬼の雪隠はその蓋石にあたり、上方にある鬼の道（底石）から横転してきた状態にある。この周辺は霧ヶ峰と呼ばれ、鬼が住み、通行人に霧を降らせ逃ったところをどらえて、畑の上で料理し、雪隠で用を足したという伝説がある。

The Onino Sechin Stone is a portion of the stone chamber of a late period burial site (latter half of the seventh century and Asuka period) that has lost its earthen mound. In its complete form the stone chamber would have consisted of three huge pieces of finely crafted granite: the base section, cover, and the portal. The Onino Sechin Stone is the cover portion, and has fallen from the Onino Manafuta Stone (the base section) above it. According to legend, in this region called Kirigamine (Mist Peak) demons lived who would confuse travelers by causing a mist to descend, then prepare the captured travelers for eating on the Onino Manafuta (Demon's Cutting Board), later relieving themselves at the Onino Sechin (Demon's Toilet).

明日香村







石舞台古墳

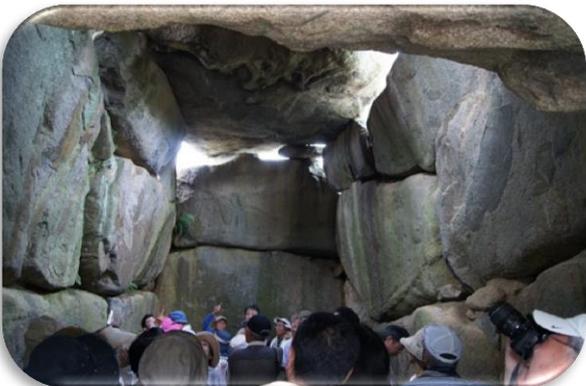


檀原神社





檀原神社



国営飛鳥歴史公園
万舞台地区